

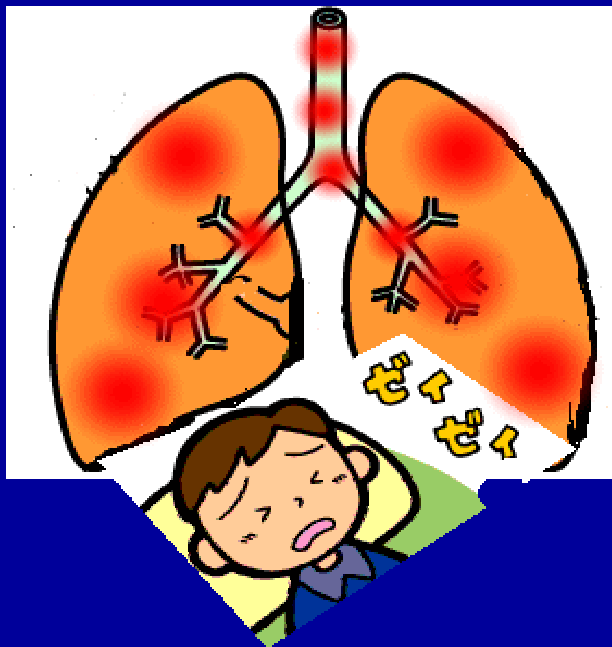
小児ぜんそく治療のお薬

ぜんそくとは？

アレルギーによる
気道の慢性炎症

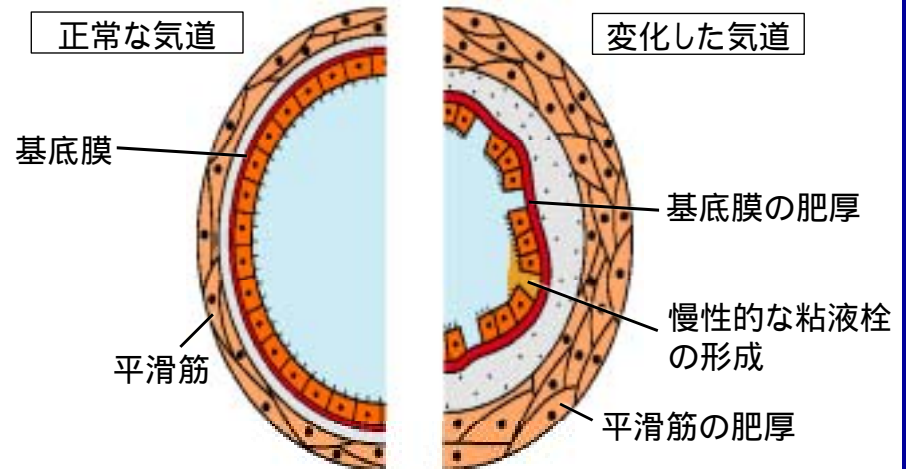


気道が狭くなる



粘膜構造の変化

炎症を放っておくと粘膜構造が変化し、もとに戻らない。



慢性炎症

喘息の症状がなくても
気道の敏感な状態は長く続いています。

少くらの刺激では発作が起きないようにするまで、
服薬を続けましょう！

ぜんそく治療薬

< 発作の予防薬 >

喘息の管理のために長期的にお薬を飲みます。

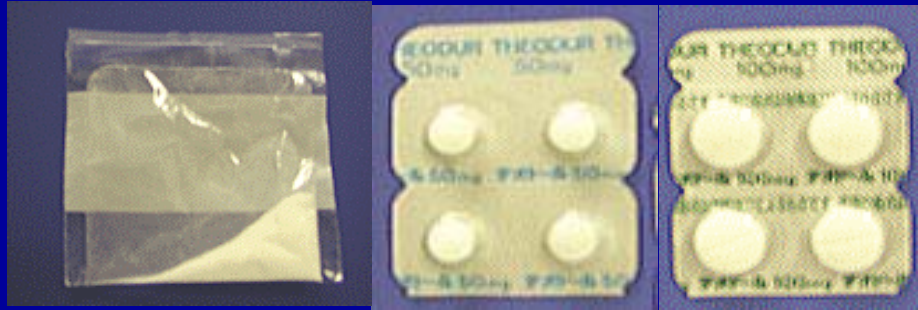


< 発作の治療薬 >

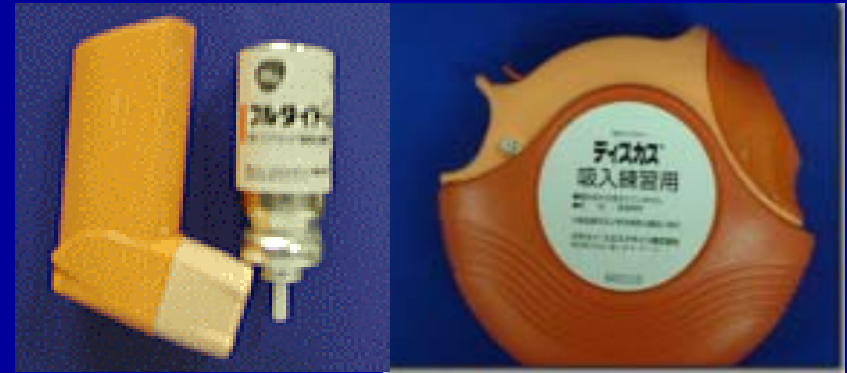
発作がおきたときに一時的に使うお薬です。

同じお薬でも予防薬としても、発作治療薬としても使うことがあります。

気道の炎症を鎮めるには？



テオドール



フルタイド吸入



インターバル(吸入)、オノン、キプレス、セルテクトなど

気道をひろげるには？



ホクナリン(テープ、内服薬)



ベネトリン(吸入)



メプチンキッドエア- (吸入)



セレベント(吸入)

吸入薬と経口薬・注射薬のちがい

吸入薬

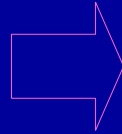


経口薬・注射薬



少ない：用量：多い
疾患部位に限局：効果：全身へ作用
投与部位に限局：副作用：全身性

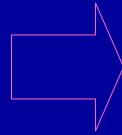
<吸入薬>



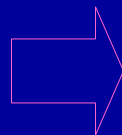
ネブライザー



定量噴霧式吸入器



吸入補助器



ドライパウダー吸入薬

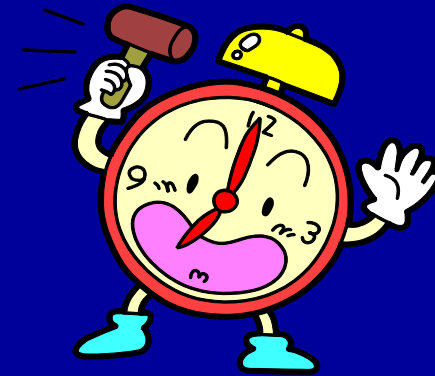
お薬が吸入器にセットされていたり、吸入器具にお薬をセットして吸入します。

問題1

1日2回(朝・夕食後)飲むお薬(テオドール)

朝の分を飲み忘れた・・・

今はもう夕方！朝の分は？？どうしよう・・・



夕食後に飲み忘れた朝と夕の2回分飲む。

夕食後の分だけ飲む。

答え：



問題2

苦しい時に吸入するお薬はどっち？

気管支をひろげてくれる吸入薬



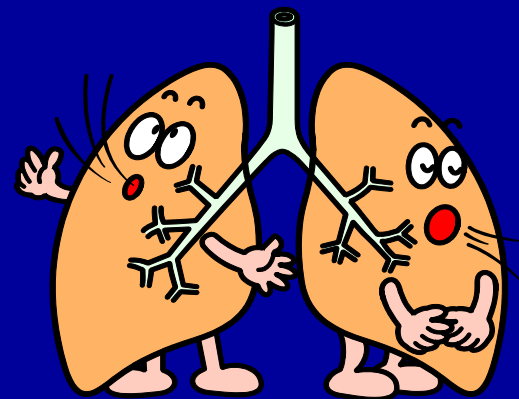
ベネトリン(吸入) メプチンキッドエア- (吸入)

気管支の炎症を抑えてくれる吸入薬



フルタイド吸入薬

答え:

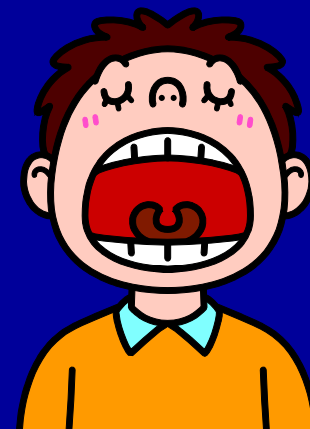


問題3

フルタイド吸入薬をした後は何をやる？



副作用を防ぐためにうがいをする。

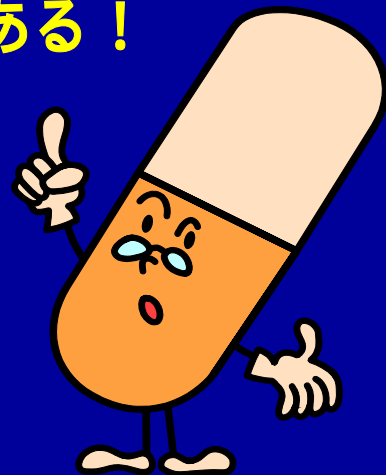


お薬がたくさん肺に届くよう3分間口を開けない。

答え：

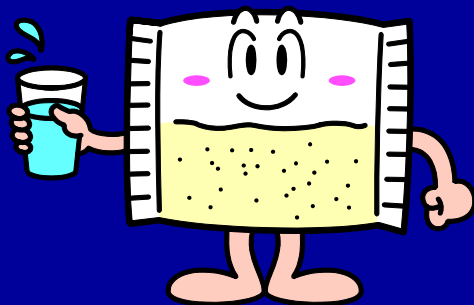
問題4

オノン(抗アレルギー薬)が手元にいっぱいある！
だけど苦しくないみたい？

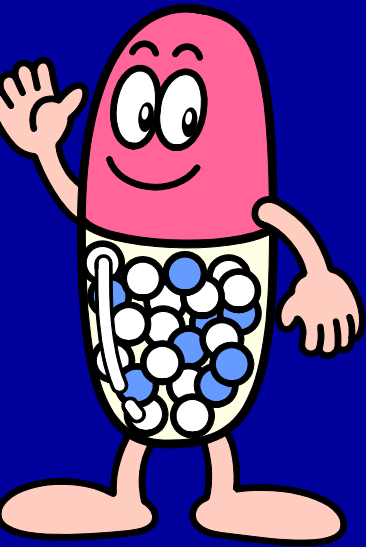


苦しくないから、お薬は飲まない。

苦しくないみたいだけどお薬は飲み続ける。



答え：



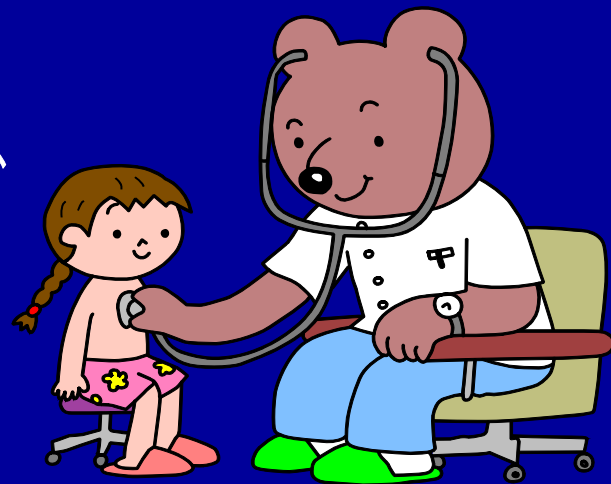
< お薬を長く服用することで、効かなくなってしまうのでは？ >

一部の痛み止めや、寝つきを良くするお薬では、長く服用しているとお薬が効きにくくなることがあります。

喘息の予防薬では、体重が増えたとお薬の量が増えることはあってもお薬が効かなくなったからといって、量が増えることはない種類です。

< やっぱり、副作用が心配？！ >

定期的な診察をして、血液検査などを受けることで、自覚症状がでる前にチェックができます。
お薬は体にとっては、異物なので
100%副作用がないとは言えません。

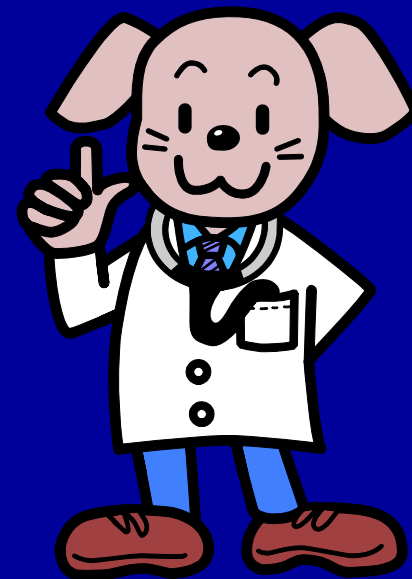


気になることがあったら相談しましょう！

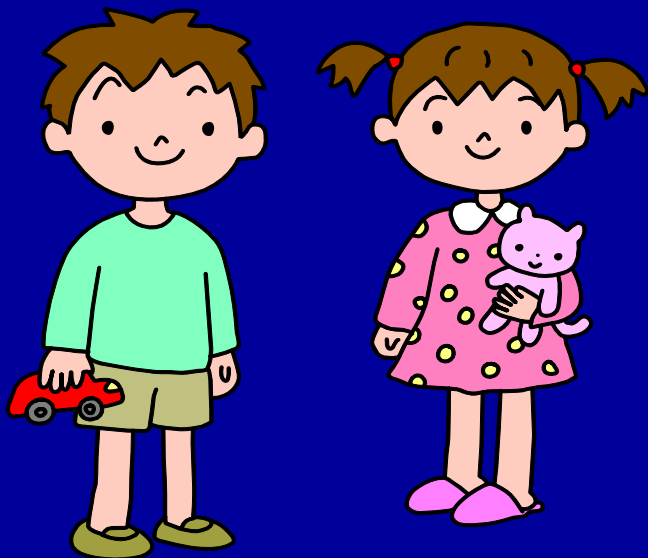
お薬と上手につきあって発作が起きないように
がんばりましょう！

予防薬こそ大切です！！

医師の指示がでるまでは、症状がなくても
服薬を続けましょう！



用法・用量を守りましょう！！



よりよい効果発現、副作用軽減につながります。

お薬の名前、効果を知っておきましょう！



何でも気軽に相談してください！

薬局